

令和六年度事業報告

1、教化研究会議

【1】第五十七回中央教化研究会議

期 日 令和六年九月五日（木）～六日（金）

会 場 日蓮宗務院

テーマ 仏教から戦争と平和を考える

参加者 一一四名

開催趣旨（開催要綱原文のまま）

ロシアによる軍事侵攻を契機としたウクライナでの戦争に未だ終わりが見えない中、昨年はハマスとイスラエルとの紛争が勃発しました。現在も続くこの紛争は、中東諸国全体にさらなる危険な状態を作っているといえます。また周知のように、第二次世界大戦後に起こった中東戦争、その背景には根深い宗教的対立もあつたと考えられています。現在のハマスとイスラエル紛争においても宗教的対立が原因の一端になっているのでし

か。

従来から宗教と戦争の関係について様々な議論されてきています。宗教は戦争の原因となるのか、または真の原因を覆い隠す為の方便として利用されてしまうこともあるのか。また宗教が戦争において重要な役割を担い平和の障壁となってしまうことはあるのか、あるいは宗教によって平和が実現されることがあるのか。

平和は戦争のアンチテーゼとして用いられるものの、戦争を語らずして平和を語ることができない、とも言われます。すなわち、平和とは何かと問う時、同時に戦争とは何かを問わなければならないのです。

また宗教的な意味での「原理主義」と「包括主義」という言葉があります。宗教的原理主義はアメリカのキリスト教世界で生まれた言葉ですが、

現在ではイスラム教世界にも適用され、根本に立ち返ることをテーゼとする考え方です。宗教的包括主義も自身の宗教の優位性への信念を担保とした上で他宗教の存在を認める考え方です。他方、世界宗教者会議などで行われる宗教間対話のように、異質な文化・宗教同士の共存と、互いが対等な立場での合意形成を目指す考え方もあります。このように宗教との距離感に係わる様々な考え方が戦争と平和、平和なる世界の実現に対してどのような影響を与えているのかを私たちは知らなければならぬと思います。

その上で法華経・日蓮聖人の教義、それを受け止める私たち自身はどう考え行動すべきなのかが問われることとなります。

以上のような問題意識を基に今回の中央教研では、「国際政治学の立場から現在の国際紛争状況」「宗教哲学の立場から宗教と戦争の関係」「仏教と戦争の関係」「日蓮宗の立場を改めて検討」等のテーマについて、諸先生の意見を拝聴し、分散会

形式で参加各聖と意見を交わしたいと思います。

開催方式

①パネルディスカッション

テーマ「仏教から戦争と平和を考える」

「パネリスト」

池上萬奈（立正大学非常勤講師）

鶴飼秀徳（浄土宗正覚寺住職・大正大学招聘教授）

赤堀正明（千葉県常不軽寺住職・現宗研所長）

②テーマに沿った分散会を設置、それぞれに座長・副座長を設ける。

③全体会議

④後日、各分散会の座長による報告を聞き、テーマ「仏教から戦争と平和を考える」にまとめた。

講演及び分散会の概要は『宗報』令和七年二月号、詳細は『現代宗教研究』第五十九号に収載。

【2】教区教化研究会議

十一教区にて開催。日時・テーマは次の通り。

●第四十七回中四国教区教化研究会議

(四分散会〔管区別〕・全体会議)

令和六年六月五日～六日

島根県 松江エクセルホテル東急にて開催

テーマ「檀家制度の再構築」

基調講演「檀家制度の再構築」

薄井秀夫(株式会社寺院デザイン)

●第四十二回九州教区教化研究会議

(三分散会〔年代別〕・全体会議)

令和六年六月二十六日～二十七日

大分県 レンブランドホテル大分にて開催

テーマ「宗教とウェルビーイング」

基調講話「寺院仏教は現代人を幸せにできるのか？」

か？」

櫻井義秀(新潟県妙光寺修徒・北海道

大学大学院教授・現宗研特別研究員)

●第四十四回北海道教区教化研究会議

(九分散会・全体会議)

令和六年八月二十八日

北海道北部 トーヨーホテル旭川にて開催

テーマ「災害時にお寺ができることを考える」

基調講演「災害発生時にお寺が地域から求められる役割とは」

る役割とは」

谷川海明(宮城県法音寺住職)

分散会「DOHUG〔避難所運営ゲーム〕」

土子邦之(北海道上川総合振興局地

域創生部危機対策室)

●第五十四回近畿教区教化研究会議

(三分散会・全体会議)

令和六年九月二十五日

滋賀県 ホテルニューオウミにて開催

テーマ「災害時に地域の寺院として何ができるか」

るか」

基調講演①「災害時の人々の心理とこころの防

災」

元吉忠寛(関西大学社会安全学部教

授)

基調講演②「自分の命は自分で守る―寺院の備災

を考える」

石原顕正（山梨県立本寺住職・NPO

法人災害危機管理システムEarth理

事長・現宗研嘱託）

●第四十回北陸教区教化研究会議

（ワークシヨップ・質疑応答）

令和六年十月八日

新潟県西部 アートホテル上越にて開催

テーマ「寺院消滅時代『現代の寺院』経営」を

考える』

基調講演「寺院消滅時代『現代の寺院』経営」を

考える』

近藤玄純（山梨県妙福寺住職・SOCIAL

TEMPLE 代表理事）

●第四十六回中部教区教化研究会議

（四分散会「ケーススタディ」・全体会議）

令和六年十月十日

愛知県三河

刈谷市総合文化センター・アイリスにて開催

テーマ「『法人寄付不当勧誘防止法』とは」

「知らなかった」では済まされない」

基調講演「『法人寄付不当勧誘防止法』とは」

「知らなかった」では済まされない」

服部功志（神奈川県常立寺住職・弁護

士）

●第四十一回東北教区教化研究会議

（三分科会・全体会議）

令和六年十一月五～六日

山形県 山形グランドホテルにて開催

テーマ「新たな開教運動」寺院問題対策」

基調講演①「『新たな住職代務制度』寺院の合

併・併合』について」

根本康秀（千葉県神宮寺修徒・日蓮

宗務院寺院僧籍課長）

基調講演②「新たな開教運動」寺院問題対策」

山本是温（山梨県善行寺住職・祖廟

輪番本部署務長）

第一分科会「しがらみを超えた寺院の兼務や統廃

合」

第二分科会「教区・管区・五会といった宗門機構

のあり方」

第三分科会「等級制度の現状と課題」

●第三十一回北関東教区教化研究会議

(四分散会・全体会議)

令和七年二月五日

埼玉県

川口駅前市民ホール・フレンディアにて開催

テーマ「戦争と宗教―立正安国から世界平和の

道―」

基調講演「戦争と宗教―立正安国から世界平和の

道―」

正木 晃(立正大学非常勤講師・慶應

義塾大学非常勤講師)

●第四十一回千葉教区教化研究会議

(八分散会・全体会議)

令和七年二月十九日

千葉県北部

浦安ブライトンホテル東京ベイにて開催予定

テーマ「自分にとつての常不軽菩薩とは―宮沢

賢治からみた法華経―」

基調講演「宮澤賢治から見た法華経」

赤堀正明(千葉県常不軽寺住職・現代

宗教研究所長)

●第四十九回京浜教区教化研究会議

(七分散会・全体会議)

令和七年二月二十八日

神奈川県第三部

ホテルサンライフガーデンにて開催予定

テーマ「寺院(宗教活動)におけるコンプライ

アンスとハラスメント問題―加害者に

も被害者にもならないために―」

基調講演「寺院(宗教活動)におけるコンプライ

アンスとハラスメント問題―加害者に

も被害者にもならないために―」

秋山経生(宗教法制研究会、宗教学

会所属・立正大学非常勤講師)

●第四十八回山静教区教化研究会議

(グループワーク・全体会議)

令和七年三月二十七日

静岡県中部

静岡県コンベンションアーツセンター・グランシ

ップにて開催予定

テーマ「寺院運営の可能性について」

基調講演「寺院運営の可能性について」

泉水寛道(北海道妙法寺修徒)

【3】連絡会議

●教区教化研究会議連絡会議

令和六年五月二十一日

Web会議サービスZoomにて開催

内容 ①教区教研運営の件

②助成金の件

③中央教研の件

④その他

●教化センター連絡会議

令和六年五月二十二日

Web会議サービスZoomにて開催

内容 ①各センター活動報告・活動計画の件

②助成金の件

③中央教研の件

④その他

2、研究・調査活動

【1】プロジェクトチーム

下記の各プロジェクトチームにおいて、それぞれ研究・調査を進めた。

●教研会議PT(村上慧香・中井本蓉・藤崎善隆・

松井大宗各研究員、灘上智生・加藤彰晃・石原顕

正・河崎俊宏・柴田章延各嘱託)

●教育教化研究PT(古河良啓・藤崎善隆各研究員、

灘上智生・加藤彰晃各嘱託)

●ITプロジェクト(中村龍央・成田東吾各嘱託)

●年次年表作成PT(小高絢華研究員、坂輪宣政嘱

託、鈴木宏彰師・望月康寿師)

●寺院環境調査PT(小高絢華・松井大宗・水谷進

良・高野光抃・齋藤宣裕各研究員、中條曉仁特別研究員、坂輪宣政・原一彰各囑託)

● 仏教とジェンダー研究 P T (村上慧香・中井本蓉・森下恵王各研究員、横山正見・成田東吾各囑託、三井妙真師・丹羽宣子氏)

● 新宗教研究 P T (水谷進良・高野光抃各研究員、櫻井義秀・伊藤瑞康各特別研究員、柴田章延囑託、服部功志師・楠山泰道師)

● グリーフケア P T (菊岡妙光・吉木祥介・齋藤宣裕・本間文裕各研究員、高松由華師・星光照師)

● 寺院備災研究 P T (石原顕正・中村龍央・成田東吾各囑託)

● 葬送儀礼研究 P T (古河良啓・内藤善之・吉木祥介・中村宣悠各研究員、鈴木隆泰・伊藤瑞康特別研究員、坂輪宣政・灘上智生・河崎俊宏各囑託)

● 日蓮門下伝説集成 P T (古河良啓・庵谷行遠・水谷進良・森下恵王各研究員、岡田文弘特別研究員、坂輪宣政囑託)

● 研究例会 (小高絢華・古河良啓・村上慧香・佐藤

妙晃・中井本蓉・藤崎善隆・内藤善之・松井大

宗・庵谷行遠・水谷進良・菊岡妙光・吉木祥介・

高野光抃・森下恵王・齋藤宣裕・中村宣悠・本間

文裕各研究員、鈴木隆泰・中條曉仁・櫻井義秀・

間宮啓壬・岡田文弘・伊藤瑞康各特別研究員)

● 囑託例会 (及川一晋・坂輪宣政・灘上智生・横山

正見・中島信吾・加藤彰晃・山内寛久・石原顕

正・河崎俊宏・中村龍央・柴田章延・都泰雄・成

田東吾・原一彰各囑託)

● 顧問会 (古河良皓・蓑輪顕量・北山孝治・三原正資各顧問)

【2】第二十五回日蓮宗化学研究発表大会

令和六年十一月二十九日

日蓮宗宗務院にて開催

研究発表

「創価学会の現状をめぐって」

水谷進良 (大阪府新福寺修徒・現宗研究員)

「幕末の超常現象ファイル『仙境異聞』に確認でき

る木剣儀礼の一考察」

玉木晃仁（山形県日朝寺住職）

「日像上人ゆかりの高題目の実唱及び継承普及の成果と課題」
中山 観能（石川県本成寺住職）

「日蓮宗現代宗教研究所はどのような理由で設立されたのか―教化学とは何かを具体的に解析する」

影山教俊（千葉県釋迦寺住職）
「寺院縮小時代の未来を考える」
齋藤宣裕（秋田県法華寺住職・現宗研研究員）

「賢治説『個人の幸福はありえない』は呪縛か」
森下龍浄（長崎県日誠寺院首）

「『高齢単身独居者の喪主になる会社』の運営」
高野光尊（長崎県本立寺修徒）

「私にとって『良い教育』とは何か―ガート・ビースタの理論を視座として―」

中井本蓉（栃木県正法寺修徒・現宗研研究員）
「アメリカ日系人の信仰について」

村上慧香（千葉県妙隆寺修徒・現宗研研究員）
「方便品長行再考」

菅野龍清（東京都浄延院住職・現宗研主任）

【3】研究例会

●研究員が各自のテーマに沿って研究発表を行った。発表テーマと発表者は次の通り。

○「雑誌『旅』における寺院観光の表象について」
小高絢華

○「宝塔偈の一考察」
古河良啓

○「シアトル布教にまつわるあんなこと、こんなこと」
村上慧香

○「『立正安国論』広本をめぐって」
佐藤妙晃

○「私にとって『よい教育』とは何か―ガート・ビースタの理論を視座として」
中井本蓉

○「ベレニケ出土像をめぐる幾つかの問題」
内藤善之

○「①石川県の現状②日蓮宗寺院におけるSNS利用状況の追跡調査報告」
松井大宗

○「安土宗論における『方座第四の妙』について」
庵谷行遠

○「創価学会の公称世帯数をめぐって」
水谷進良

○「お寺の活用―私にできる地域貢献―」
菊岡妙光

○「ほとけさま」と成る死者について 吉木祥介

○「過疎地域寺院における教師の積極性に寄与する要因について」 高野光拓

○「海洋散骨を中心とした状況とその是非について」 森下恵王

○「寺院縮小時代の未来を考える」 齋藤宣裕

○「日蓮教学における戒・定・慧の三学と儀礼」

○「子ども食堂『寺GO飯』千歳』を開催して」 中村宣悠

○「新宗教をどうわかりやすく説明するか―新宗教PTからの報告」 櫻井義秀

【4】特別講演

●令和六年五月十日

日蓮宗宗務院にてハイブリッド形式で開催
「クイア仏教学の必要性」

宇治和貴（筑紫女学院大学教授）

●令和六年七月八日

Web会議サービスZoomにて開催

「宗教は戦争の原因となりうるか」

【5】各種調査

石川明人（桃山学院大学教授）

●四月三十日、石川県第二部管内に於いて、能登半島地震の被害に係わる現地調査を行った。

●五月十四日～十五日、那須塩原に於いて、宗祖の霊蹟・伝説に係わる現地調査を行った。

●五月二十日～二十一日、千葉県内房に於いて、宗祖の霊蹟・伝説に係わる現地調査を行った。

●十二月二十三日、東京都池上本門寺に於いて、小樽問答に係わる聞き取り調査を行った。

●令和七年一月十四日～十五日、神奈川県に於いて、宗祖の霊蹟・伝説に係わる現地調査を行った。

●令和七年一月二十二日～二十三日、茨城県・千葉県・東京都に於いて、宗祖の霊蹟・伝説に係わる現地調査を行った。

3、出版・資料収集

【一】『現代宗教研究』第五十九号を編集し、発行した。

【二】 教団史研究資料の一つとして、各種資料より『令和五年日蓮宗年表』を作成し、配布した。

【三】 現代教化シリーズ四『GRANTHA』を編集し、発行予定。

【四】 『はじめて導師を務める方のための葬儀読本』を編集し、発行予定。

【五】 新宗教関係資料を収集し、保管した。

【六】 各種伝道教化に関する資料を収集し、保管した。

【七】 伝道・教化・研究に必要な図書を購入した。

【八】 今年度購入・寄贈図書のコンピュータ管理のための蔵書整理とデータ作成を行った。

4、研究交流・会議

● 五月二十五日、青山学院大学青山キャンパスにて「第三十二回日本近代仏教史研究会研究大会」に出席。

● 六月八日、武蔵野大学武蔵野キャンパスにて連続公開講座「仏教にかける期待―これからの仏教を考える―第一回 日本における社会参加型仏教・課題と

可能性」に出席。

● 六月八日、専修大学にて「第八十七回宗教学会」に出席。

● 六月二十七日、仏教伝道センターにて「葬式仏教価値向上委員会 第三十五回研究会 キリスト教の葬儀から、仏教の葬儀を考える―キリスト教葬儀にはヒントがいっぱい」に出席。

● 七月六日、武蔵野大学武蔵野キャンパスにて連続公開講座「仏教にかける期待―これからの仏教を考える―第二回 仏教教団の戦争協力と平和運動」に出席。

● 九月三日、日蓮宗宗務院にて「日蓮宗相談事業協会（NCA）総会・第一回相談員研修」に出席。

● 九月九日、大本教東京本部にて「教団付置研究所懇話会 宗教間対話部会」に出席。

● 九月十四日～十五日、天理大学柚之内キャンパスにて「日本宗教学会 第八十三回学術大会」に出席。

● 十月五日、武蔵野大学武蔵野キャンパスにて連続公開講座「仏教にかける期待―これからの仏教を考える

る―第四回 仏教と共生―共に支え合うご縁となるために―」に出席。

●十月十一日、立正大学にて「令和六年度立正大学仏教学部 仏教文化公開講座 聖地ネパールと日本をつなぐもの」に出席。

●十月十五日、オンラインにて「クイア仏教学研究 会」に出席。

●十月十九日、オンラインにて「国際宗教研究所・東洋英和女学院大学死生学研究 共催 二〇二四年 度「生と死」シンポジウム」に出席。

●十月二十日、保田妙本寺にて「お虫干し会」に出席。

●十月二十六日、オンラインにて「日本学会議 公開シンポジウム 脳組織を人工的につくることの意味を考える―科学者と哲学・倫理学・宗教学者の対話から―」に出席。

●十月二十九日、孝道山本仏殿にて「教団付置研究所 懇話会 第二十二回年次大会」に出席。

●十月二十九日、東京グランドホテルにて「曹洞宗総合研究センター 第二十六回学術大会」に出席。

●十一月八日～九日、身延山大学にて「第七十六回 日蓮宗教学研究発表大会」に出席。

●十一月十一日、横須賀市大明寺にて「中央奠統会 修会 「カルト宗教」取材したらこうだった～忍びよるトンデモの正体～」に出席。

●十一月二十二日、立正大学にて「第四十一回 仏教主義学校連盟弁論大会」に出席。

●十二月四日、七尾市産業福祉センターにて「『心のケア』研修会」に出席。(グリーンケアPT)

●十二月七日、武蔵野大学武蔵野キャンパスにて連続公開講座「仏教にかける期待―これからの仏教を考える―第五回 仏教の災害復興支援とスピリチュアルケア」に出席。

●十二月十日、東京グランドホテルにて「臨床仏教研究所公開研究会 保護矯正活動の現実と課題～当事者の支援・寄り添いのあり方とは～」に出席。

●十二月十五日、武蔵野大学武蔵野キャンパスにて「第六五五回 武蔵野大学日曜講演会 お山する― 霊山参詣と日本人」に出席。

●十二月十六日、仏教伝道センタービルにて「葬式仏教価値向上委員会 第三十七回研究会 葬式仏教としての創価学会」に出席。

●十二月二十一日、龍谷大学大宮キャンパスにて龍谷大学世界仏教文化研究センター国際研究部門ワークショップ「初期イスラーム社会のセクシュアリティとクィア研究—LGBTQ「受谷」に向けたイスラームの試み—」に出席。

●十二月二十一日、一ツ橋講堂にて「第二〇回 歴博フォーラム 超高齢化社会における葬墓制の再構築を目指して」に出席。

●十二月二十一日、東京大学山上会館にて「大正新脩大蔵経公開シンポジウム」に出席。

●十二月二十五日、増上寺明照会館にて「第三十六期 第三回 社会人権審議会」に出席。

●令和七年二月一日、オンラインにて「自死問題シンポジウム 生きごころのいい社会を目指して」に出席。

●令和七年二月八日、新宿区常圓寺にて「法華コモン

ズ一日集中講座 仏教は霊をどう考えたか」に出席。
●令和七年二月十日、増上寺光摂殿にて「第四十九回 浄土宗総合研究所シンポジウム 「墓じまい」を考える」に出席。

●令和七年二月十五日、東京大学本郷キャンパスにて国際宗教学研究公開シンポジウム「宗教から見る中東の戦争と平和—国際紛争の宗教的要因と和解への道」に出席。

●令和七年三月十三日、オンラインにて庭野平和財団シンポジウム「若者の宗教性はどうか涵養されるのか、されないのか。どこで、誰に。」に出席。

●令和七年三月十四日、キャンパスプラザ京都にて「第三十五回 法華宗教学研究発表大会」に出席。

●令和七年三月二十二日、京都大学にて「宗教哲学会 第十七回学術大会」に出席。

●令和七年三月二十四日、オンラインにて「令和六年度 第一回過疎問題連絡懇談会」に出席。

●令和七年三月二十五日、増上寺明照会館にて「第三十六期 第四回 社会人権審議会」に出席。

●令和七年三月二十七日、オンラインにて「令和六年度 智山伝法院特別講習会 仏教教団におけるジェンダー研究の現状と展望」に出席。

5、講義・講演

●第一期信行道場

令和六年五月七日 信行道場にて開催

テーマ「臨床講義」

鈴木智雄（日蓮宗現代宗教研究所員）

●令和六年度北海道教区布教師会連合会合同研修会

令和六年六月四日 北海道経王寺にて開催

テーマ「宗教二世の問題について」

赤堀正明（日蓮宗現代宗教研究所長）

●第二期信行道場

令和六年六月二十五日 信行道場にて開催

テーマ「臨床講義」

鈴木智雄（日蓮宗現代宗教研究所員）

●第五十九回立正平和祈願大法要

令和六年七月九日 宮城県孝勝寺にて開催

テーマ「祈願と供養は素晴らしい」

赤堀正明（日蓮宗現代宗教研究所長）

●日本宗教学会

令和六年九月十五日 天理大学にて開催

テーマ「日蓮宗のリテラシーを考える」

赤堀正明（日蓮宗現代宗教研究所長）

●熊本県布教師会布教講習会

令和六年十二月五日

ANAクラウンプラザホテル・熊本ニュースカイト

て開催

テーマ「怨霊の理」

菅野龍清（日蓮宗現代宗教研究所主任）

●長野管区教師研修会

令和七年一月二十日

長野県・ホテル犀北館にて開催

テーマ「仏教とジェンダー」

赤堀正明（日蓮宗現代宗教研究所長）

●佐賀管区教師研修会

令和七年一月二十四日

佐賀県・グランデはがくれにて開催

テーマ「仏教から見た死後の世界」死んだらどうなる？」

赤堀正明（日蓮宗現代宗教研究所所長）

●九州教区布教師会研修会

令和七年三月十一日

日蓮宗熊本県宗務所にて開催予定

テーマ「怨霊の理」吊られるものと吊られないもの

「2」

菅野龍清（日蓮宗現代宗教研究所主任）